

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	わかりやすく、覚えやすい事業所独自の理念がない	誰もが覚えられ、意識できるここのつの実独自の理念を作る	ミーティング時に皆で意見を出し合い、わかりやすく覚えやすい理念を作成し、共有する	2 か月	
2	2	事業所から地域に向けた認知症やグループホームの情報発信を行う	婦人会や老人会など地域コミュニティに向けて認知症やグループホームなどの情報発信を行い、認知症の予防や理解に繋げ、地域とのつながりを深める	地域に向けた認知症サポーター養成講座の開催や、勉強会の機会を設ける	12 か月	
3	4	運営推進会議の参加者が増えない	運営推進会議へ、多くの方に参加して頂く	平日開催とご家族が参加しやすい休日開催の運営推進会議を行う。市役所の担当課へ案内を出す。法人内の事業所同士で相互参加を行う	4 か月	
4	5	運営推進会議の案内や報告を行政に定期的に行っていない	行政との連携を深める	運営推進会議の案内状や会議録を定期的に行政に郵送し、会議へ参加して頂いたり、事業所の現状を知っていただくなど密に連携を取り合う	4 か月	
5	6	事業所同士の身体拘束の情報共有がない	事業所間で、身体拘束の情報を共有し、拘束防止につなげる	事業所同士で身体拘束の事例や防止についての情報共有を行い、知識を深める	4 か月	
6	8	権利擁護についての説明時に必要なパンフレットや定期的な学習が行われていない	権利擁護についてのパンフレットの常備・知識を深める	権利擁護についてのパンフレットを準備する。ミーティングや勉強会に代理人の弁護士さんに来ていただくなどして知識を深める	2 か月	
7	10	家族会や忘年会・新年会などによりご家族同士の横のつながりを設け、自然に施設への要望や意見が言いやすい環境づくりに期待	ご家族同士が繋げる機会を設け、施設とご家族の絆を深め、要望も言いやすい環境を作る	懇親会などを催し、家族が定期的に来られる機会を作る	12 か月	
8	28	ケアに係っている他職種の意見が担当者会議であげられておらず、ケアプランへの反映が出来ていない。ケアプラン変更時のモニタリングがない	他職種との連携をとる。担当者会議に出てもらうことが難しい場合は紙面で意見を上げてもらえるようにする。ケアプラン変更時のモニタリングを行い、記録に残す	一度に行うケアカンファレンスの対象者を二人から一人に絞り、他職種の意見も聞き取り、書面に書いてもらって吸い上げ、カンファレンスの話し合いをより具体的なものにする。ケアプラン変更時のモニタリングを行い、書面に記録として残す	12 か月	
9	37	避難訓練への地域の方の参加が望まれる	地域の方にも避難訓練に参加していただき、非常時に協力して頂けるような関係づくり、訓練を行う	運営推進会議に避難訓練を盛り込み、地域の方にも訓練に参加して頂く	12 か月	
10	38	写真や肖像の利用に関して利用の同意や説明を行い、書面での取り交わしも行われることにも期待	苑内に掲示している写真などに関してプライバシーに配慮し、利用者やご家族から掲示の同意を得る	利用者・ご家族にプライバシーに関する、写真や肖像について説明を行い、同意書にサインを頂く	3 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()